

のぞみ31号 安全に関わる問題発生！

1月25日17時11分頃、のぞみ31号（編成K10）が異音を感知し、小倉～博多間のトンネル内で緊急停止しました。車掌が、床下点検し約1時間後に運転再開して博多駅には72分遅れで到着するという事象が発生しました。

原因は11号車にあるモーターの回転を車輪に伝達するための歯車が入った装置（ギアケース）が破損する重大事故でした。

また、破損した装置の一部（シム、ボルト、座金など）21点、総重量約167.6グラムが線路上で発見されました。

停止するまでに客室から火花が見えたらしく、博多駅到着した時にはギアケースは落下しそうな状態で針金緊迫し、深夜に搬送台車を挿入し、博多総合車両所に搬送されたということです。

この編成の列車は東海エリアでも営業列車で走行している上、J R東海の車両所でも検査を実施しています。とても他人事では済まされません。

会社は翌日26日、上記の事象も原因も説明しないまま、**{N700系故障ポップアップ「駆動系異常」表示時の取扱いについて}**と題する掲示を掲出しました。

その内容は、運転士に対して、モニタ故障ポップアップに「駆動系異常」が表示された場合は、直ちに運用指令へ報告し、指示を受けることとだけ載せた掲示でした。

しかし、「駆動系異常」の現象は応急処置ブロック図には記載されておらず、訓練でも周知されていない、故障表示です。

今回の事象は安全に関わる重大な事象である！！

会社は、早急に原因を究明し、運転士・車掌に事故の経過、原因を説明し、訓練する義務があるのではないのでしょうか！？